

紫紺

〈題字〉故 花田 衛先生

剛 英 知 氣 品 知

Contents

同窓会長・学校長あいさつ	2
中高活動報告・2022年度入試合格者数	3
令和4年度総会報告	4
令和4年度役員・代表幹事一覧	5
紫紺会入会式・年祝い会	6
東京紫紺会・県庁紫紺会	7
委員会・支部年間活動報告	8~9
現役生部活動報告	10~11
未来応援基金活用報告及び募金者一覧	11
紫紺ズームアップ	12~13
新入会者紹介	13
飾り馬奉納 秋季例大祭	14
令和3年度 年の祝い・15期同窓会・ 代表幹事メッセージボード	15
令和4年度収支予算・ 事業計画・会費納入のお願い	16

2022年9月1日 第32号



発行
熊本学園大学付属中学・
高等学校 同窓会 紫紺会
編集
紫紺会広報・情報委員会

〈紫紺会事務局〉
〒862-0971 熊本市中央区大江2-5-1
熊本学園大学付属高等学校内
〈事務局室別館〉
〒862-0971 熊本市中央区大江2-1-71
スポーツクラブ&スパ
ルネサンス 熊本学園大通24 1F
TEL・FAX 096-371-9333
(事務局用電話) 090-4817-9333
(平日9:00~17:00)
<http://shikonkai.com/>
shikonkai@outlook.com
紫紺会公式 Facebook、Instagram も
ご覧下さい！



同窓生同士の「つながり」深め、活動促進へ

熊本学園大学付属中学・高等学校同窓会 紫紺会 会長 木村 光男（16期）

同窓会会員の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和3年6月の書面総会にて第15代紫紺会会長を仰せつかり、早1年が経ちました。この1年間は、会長就任後も新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係もあり、紫紺会活動が思うようにできない状況が続いております。令和4年の年頭に予定しております大同窓会の開催については役員、代表幹事の皆さまにご尽力いただき、準備は整っておりますが、開催を断念することとなりました。今年6月18日に総会と年祝いの会をホテル日航熊本において開催することができました。このような状況下、会の運営ができたことは本当に皆さま方のご協力の賜物と感謝しております。

さて、昨年の会報誌で申し上げましたが、会長として一番の役割は長野英子前会長が実践、そしてチャレンジされたことを今年は具体的に形にして、同窓生の理解を深めつつ、浸透させていくことです。私の任期中のこの2年間で、日常で知り合った同級生同士の「つながり」を深めていくことを目標に、疎外感を持つている同窓生がいない環境づくりや、紫紺会を応援したいが、どう応援すればいいかわからない同窓生を掘り起こしていきながら、目標達成に向けて活動



を進めていく所存でございます。そのためには、各委員会と連携しながら円滑に進めていくことが第一であり、財務委員会、広報・情報委員会、事業活動委員会、青年部委員会、経済同友会委員会、飾馬奉納実行委員会それぞれに任務を全うしていただけるよう、会長としてバックアップしていきます。さらには、紫紺会の輪や運営に関するノウハウ、アイデンティティを広げ、蓄積できる組織体制の構築を目指し、次世代を見据えて会を運営する上での調整を担っていくことも会長としての役割だと考えています。

最後にになりましたが、紫紺会は脈々と受け継がれてきた会の歴史を次世代へと受け継ぎ、しっかりと活動の幅を広げながら会をさらに盛り上げていきたいと考えています。今後も皆さまからの変わらぬご支援と紫紺会、母校のますますの発展をお祈りしまして、ごあいさつとさせていただきます。

全人教育のたゆまざる創造

熊本学園大学付属中学・高等学校 校長 伊藤 良高

紫紺会の皆さまにおかれましては、平素より本校同窓会の運営・活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。学校を代表して、厚くお礼を申し上げます。また、この数年来の新型コロナウイルスによる感染症のため、紫紺会の皆さまにおかれましても、いまだ生活に種々の影響が出ていることとお見舞い申し上げます。

さて、熊本学園大学付属中学校・高等学校はともに、開設当初から、80年に及ぶ学校法人熊本学園の「師弟同行」「自由闊達」「全学一家」という建学の精神の下、「生徒の誓」（昭和38年3月制定。以下、「誓」）に示された全人教育の理念を通して、広く社会の健全有為の人物を育成することを教育目標としてきました。

すなわち、「誓」は「われわれは民主的文化的な国家社会の卓抜な指導者となるため、学友相助け相励まし、端正闊達の校風を振興し、学園建学の精神に徹することを誓う」と述べ、理想とする生徒の姿として、「学業に精励し英知を磨く」、「情操を陶冶し気品を高める」、「心身を鍛錬し剛氣を養う」を掲げています。この「英知」「気品」「剛氣」という3つの要素を軸に、理性的判断に基づく行動ができるような知識の涵養や、高潔で気品のある人間の育成、目標に向かって突き進む気力の充実など、本校ならではの校風のなかで知・徳・体のバランスのとれた人間形成を目指してきています。

近年では、現代社会の有り様や在学す



る生徒の状況などを踏まえ、生徒一人一人の興味や関心、発達や学習の課題に即して、各々の個性に応じた学びを引き出し、生徒自身の描く「自分らしい自分」、「なりたい自分」に向かって一人一人の資質・能力を高めていくことを教育の大きな特徴としています。そして、生徒が将来、さまざまな分野・領域でトップとして活躍することのできる人間となっていくための大切な拠点となることに努めています。そのために、中・高ともに、生徒の自主性・主体性を尊重し、生徒一人一人の学習意欲を高め、やりたいことを深められる教育を提供するとともに、学校を安心・安全な居場所、生活空間として保障していくよう環境整備に力を注いでいます。

これからも全人教育という不変の理念の下、生徒一人一人が個性豊かに成長していくことのできる学校づくりに教職員一同奮闘して参りますので、どうぞよろしくご支援、ご協力のほどをお願い申し上げます。紫紺会の皆さまには、大変お世話になります。

中高活動報告

令和3年度も、コロナ感染予防のため学校活動が制限されることは多くありましたが、かなりの行事を行えたことで生徒の学校生活における楽しみも増えたことと思います。まだまだ気を緩めることはできませんが、できるだけ多くの行事を滞ることなくやっていけたらと思っております。

令和3年度の在校生は中学校236名、高校1209名、学級数は中学校9（1年3、2年3、3年3）、高校32（1年11、2年11、3年10）です。男女比は中学校が4対6、高校がほぼ半々です。

大学入試では、国公立大学に153名（うち現役生は124名）を始めとして、多くの生徒が合格を果たしました。下記に一覧表を掲載しておりますので、御覧ください。

部活動においては、6月初旬に開催された県高校総体で、ボート男女全種目、女子テニス、体操男子団体・個人で優勝しました。

また熊本市中体連では、バドミントン女子シングルスで個人4位、空手道が団体3位で、体操・新体操とともに県中体連進出を果たしました。

本年度も高校、中学ともにコロナ禍で練習が制限される中、可能な限り練習に時間を割き、集中して取り組んでくれました。

施設面では、本年度から中学・高校の1年生は、一人1台のパソコンの導入しております。昨年度から始まった熊本学園中期経営計画に則りハードとソフトの両面から、ますます施設の整備と教育環境を整え、生徒の学校生活がより充実したものと なりますように取り組んでいきます。

令和3年度は中学校の10周年を祝う記念式典を行う予定でしたが、コロナ禍にあつて延期となりました。開催できる時期を検討しているところです。

熊本学園大学付属中学校・付属高等学校の生徒は、紫紺会の皆様の期待に応えるべく一生懸命励んでおります。紫紺会の皆様の応援を心に刻み更なる高みに向かって飛躍を続けていきます。今後ともよろしくお願いいたします。このご報告が、皆様の心の励みとなりますことを祈念いたしております。



2022年度入試 合格者数

国立大学	現役	過卒	計	公立大学	現役	過卒	計	私立大学	現役	過卒	計
熊本大学	34	3	37	熊本県立大学	20	2	22	同志社大学	6		6
鹿児島大学	14	2	16	北九州市立大学	3		3	立命館大学	11	1	12
長崎大学	9	1	10	山口東京理科大学	2	1	3	熊本学園大学	120	13	133
宮崎大学	7		7	横浜市立大学	2		2	崇城大学	67		67
佐賀大学	3	2	5	長崎県立大学	1	1	2	福岡大学	52	3	55
九州大学	1	4	5	前橋工科大学	1		1	近畿大学	27	25	52
福岡教育大学	3	1	4	東京都立大学	1		1	熊本保健科学大学	35	7	42
広島大学	3		3	静岡県立大学	1		1	龍谷大学	20	1	21
大分大学	2	1	3	静岡文芸大学	1		1	久留米大学	13	5	18
琉球大学	2	1	3	滋賀県立大学	1		1	西南学院大学	15	2	17
東京外語大学	1	2	3	周南公立大学	1		1	九州看護福祉大学	11	2	13
山口大学	2		2	山口県立大学	1		1	九州ルーテル学院大学	11	1	12
北海道大学	1	1	2	高知工科大学	1		1	大阪工業大学	8	3	11
名古屋大学	1		1	叡啓大学	1		1	帝京大学	9	1	10
京都工繊大学	1		1	大阪公立大学		1	1	九州産業大学	9		9
埼玉大学	1		1					東海大学	6	2	8
東京繊維大学	1		1	私立大学	現役	過卒	計	東京都市大学	7		7
愛媛大学	1		1	早稲田大学	2	2	4	京都産業大学	7		7
九州工業大学		1	1	慶応義塾大学	1		1	福岡工業大学	5	2	7
大阪大学		1	1	上智大学	5	3	8	尚絅大学	5	1	6
千葉大学		1	1	東京理科大学	3	1	4	九州保健福祉大学	5	1	6
東京海洋大学		1	1	明治大学	10		10	関東学院大学	5		5
信州大学		1	1	青山学院大学	2	1	3	明治学院大学	5		5
岡山大学		1	1	立教大学	5	1	6	東洋大学	5		5
				中央大学	5		5	京都外語大学	5		5
				法政大学	3	4	7	同志社女子大学	5		5
				関西学院大学	7		7	武庫川女子大学	4	1	5
				関西大学	2		2	中村学園大学	4	1	5

*上記大学は、国公立大学、早慶上理、GMARCH、関関同立及び合格者多数大学の順で掲載しております。その他多くの大学・専修学校等に合格されています。詳細をご覧になりたい方は、ぜひ本校ホームページよりご覧ください。



令和4年度 紫紺会総会を開催

令和4年6月18日に開催しました総会の報告をさせていただきます。今回の総会はホテル日航熊本で開催しました。同日に開催した「年祝いの会」の影響もあり、46人のご出席をいただきました。ご参加の方々には心より御礼申し上げます。総会では木村光男会長のあいさつに始まり、議長は代表幹事長の16期・浦上和裕さんに務めていただきました。第1号議案：令和3年度活動実績および決算報告、第2号議案：令和3年度監査報告、第3号議案：令和4年度活動計画および予算案。以上の議案で決議し、出席者全員のご協力のもと、スムーズな進行により滞りなく議決いただきました。新型コロナの感染状況が不安定な中で総会が開催できたことは大変うれしく思います。今年度もさまざまな活動を予定しております。ぜひ、たくさんの卒業生の皆さまに紫紺会活動にご賛同いただきたいと思います。



奥村 誠基 事務局長



木村 光男 会長



浦上 和裕 代表幹事長



平木 邦昭 監事



三浦 勲 財務委員長



紫紺会からのお知らせ 終身会費制度

紫紺会では昨年より終身会費制度を導入しています。65歳以上の会員の方が対象ですが、一斉に移行してしまうことによる翌年以降の年会費減少を加味し、現在は1期～5期までの方を対象に移行しております。今年度は1期～10期までの会員さまを対象に納入用紙をお配りしており、次年度まで調整を行います。終身会費は本会報誌とともに同封されている納入用紙でお支払いいただけます。こちらの用紙で納入いただきますと、これ以降の年会費の納入は無くなります。令和4年8月1日時点での終身会費納入は68人となっております。ぜひ、終身会費への移行もご検討ください。

また未来応援基金の納入用紙もございます。在校生を応援するための予算となりますので、合わせてご協力をよろしくお願いいたします。

紫紺会事務局長 奥村 誠基 (33期)

令和4年度 紫紺会役員

委員会等	役職	氏名	期
会長		木村 光男	16期
副会長		小田 勝也	19期
		寺本 光秀	22期
		三浦 勲	23期
		古閑 知子	26期
		内藤 千穂	29期
事務局	事務局長	奥村 誠基	33期
	事務局次長	内藤 千穂	29期
	〃	河岸 義彦	30期
	〃	村田 護規	32期
	〃	檜橋 一玄	34期
	〃	中村由紀子	34期
	参与	村上 康彦	15期
監事		平木 邦昭	14期
		馬原 隆	17期
		志垣伸太郎	30期
代表幹事会	代表幹事長	浦上 和裕	16期
	副代表幹事長	石本 敏明	9期
	〃	藤木 勝幸	16期
	〃	田上 明裕	29期
	〃	檜橋 一玄	34期
	〃	眞弓 知也	48期
財務委員会	委員長	三浦 勲	23期
	副委員長	永松 豊	16期
	委員	白石 隆	24期
	〃	出先 教明	31期
	〃	高濱 知佳	32期
	〃	佐藤マリア	37期
	参与	馬原 隆	17期
広報・情報委員会	委員長	宮村勇一郎	23期
	副委員長	原田 佳英	35期
	〃	佐藤マリア	37期
	〃	宮崎 常	39期
	〃	大島 栄祐	40期
	委員	志水 和幸	18期
	参与	西本 弘美	40期
		佐伯 昇治	13期

委員会等	役職	氏名	期
事業活動委員会	委員長	浅野 芳幸	33期
	副委員長	村上 雄一	33期
	〃	西牟田耕太郎	37期
	参与	桑原幸津江	25期
経済同友会	委員長	寺本 光秀	22期
	副委員長	西上 佳孝	25期
青年部委員会	委員長	嶋村拓二郎	41期
	副委員長	榎 崇文	40期
	〃	塚本 龍一	47期
	委員	道山 明香	42期
	〃	井上 慶一	46期
	〃	富田 修成	46期
	〃	永廣 一晃	39期
	〃	内田 雄也	37期
飾馬奉納実行委員会	委員長	渡邊 憲輔	39期
	副委員長	嶋村拓二郎	41期
顧問		目黒 純一	
校長		伊藤 良高	
相談役		長野 英子	15期
名誉理事		奥村 拓司	1期
		大堂友一郎	1期
		内原 中	1期
		貝島 博信	1期
		黒木 繁紀	2期
		式森 耕吉	4期
		原武 博之	5期
		竹本 朝生	6期
		武末 博司	7期
		木下 顕	11期
		榎 主税	14期

紫紺会 代表幹事一覧

期	卒業年	名前	期	卒業年	名前	期	卒業年	名前	期	卒業年	名前
1	S37	立川 恵之助	17	S53	山下 慶一郎	33	H6	池本 千寿	49	H22	高橋 直人
2	S38	今村 宏	18	S54	志水 和幸	34	H7	植田 真功	50	H23	上坂 萌子
3	S39	井手 和洋	19	S55	伊津野 浩	35	H8	千々岩 慎吾	51	H24	中野 翔梧
4	S40	坂元 邦彦	20	S56	崎坂 浩行	36	H9	高松 大輔	52	H25	上坂 暖子
5	S41	中園 直樹	21	S57	中山 貴夫	37	H10	内田 雄也	53	H26	小野 晃嗣
6	S42	白野 国久	22	S58	寺本 光秀	38	H11	山口 敦司	54	H27	長濱 美優
7	S43	武末 博司	23	S59	川口 修	39	H12	永廣 一晃	55	H28	宮崎 真吾
8	S44	和田 信一	24	S60	白石 隆	40	H13	久富 信夫	56	H29	井田 彩心
9	S45	上野 和徳	25	S61	西上 佳孝	41	H14	渡邊 陽一	57	H30	今村 拓詩
10	S46	本田 順治	26	S62	相馬 啓	42	H15	豊田 隆志	58	H31	村田 雅弥
11	S47	伊瀬知 裕	27	S63	鈴木 浩二	43	H16	矢田 琢磨	59	R2	出口 貴太
12	S48	臼杵 和孝	28	H1	水田 貴光	44	H17	井手 誉大	60	R3	小堀田 圭悟
13	S49	上妻 利夫	29	H2	田上 明裕	45	H18	松下 翔	61	R4	高野 蓮
14	S50	宮本 亘	30	H3	廣末 好信	46	H19	井上 慶一			
15	S51	吉田 敏郎	31	H4	出先 教明	47	H20	塚本 龍一			
16	S52	藤木 勝幸	32	H5	堤 泰之	48	H21	眞弓 知也			

第61期生紫紺会入会式

広報・情報委員長 宮村勇二郎(23期)

令和4年3月1日、本校多目的ホールで紫紺会61期生の入会式が執り行われました。例年であれば、卒業式前の予行演習に合わせ体育館で開催されてきましたが、本年もコロナ禍の中の実施となり、Zoomを使用した会式となりました。授与式会場には当日学校から表彰状を受け取る生徒30人が待機し、その映像を各教室へ配信する方法で執り行われました。まずは、生徒たちへの各種表彰式が行われ、その後入会式となりました。式では木村会長が「3月3日に卒業を迎えられることを心からお祝い申し上げます。入会後には有意義な活動ができるよう本会としても尽力し、そして共に会の発展のために力を合わせ、頑張っていきましょう」とあいさつ。委嘱状授与式では、代表幹事を務められる高野蓮さんと副代表幹事を務められる藤原琉花さんに登壇いただき、会長から委嘱状が渡され、クラス幹事の皆さま22人には各クラスで担任の先生からお渡しいただきました。



木村光男会長



高校多目的ホールで開かれた入会式



代表幹事の高野蓮さん(左)



副代表幹事の藤原琉花さん(左)

コロナ禍また受験、卒業、入学、新年度と大変お忙しい中、このような紫紺会入会式にご尽力をいただきました学校ならびに先生方に心からの感謝を申し上げます。

年祝い会

事業活動委員長 浅野 芳幸(33期)

本年は例年と異なる日程となり、ご迷惑をおかけいたしましたことをまずはお詫び申し上げます。本年は1期・4期・11期・20期の先輩方の節目となる年祝いの会に150人を超えるご列席を賜り、無事に開催することができました。宴席の前に手取神社で神事を行うことで開会から乾杯までの時間を短縮し、間延びする事なく事業ができました。準備段階から多くの先輩方にサポートしていただいたおかげで、過去の経験を生かした運営ができたことに心から感謝申し上げます。一方で数人の先輩から「案内状が届いていない」というお叱りをいただきました。発送作業は十分に注意しながら行いましたが、漏れが生じてしまったことは反省すべき点であり、次回開催の際には同じ失敗をしないようにしっかりと引き継いでいきたいと思っております。

ご参加いただいた皆さまからは、「開催してくれてありがとう」という感謝の言葉をいただき、準備は大変ではありましたが、開催して良かったと感じています。まだまだコロナの影響が続く、このような委員会を開催するには新たな問題点が出てきています。個食になっている点も最たるもので、これにより事業費が増えています。それらの問題を一つ一つ解決しつつ、より一層ご参加いただける皆さまに喜んでいただけるような事業を今後も実施していきたいと思っております。今回は多くのご参加をいただき、本当にありがとうございます。そして、節目となる年を迎えられた先輩方、本当におめでとうございます。これからも元氣でお過ごしいただき、またお会いできることを祈念しております。



1期生



坂本哲志衆議院議員



伊藤良高校長



木村光男会長



20期生



11期生



4期生

やっと活動再開へ

東京紫紺会 会長 宮本 恭(12期)



東京紫紺会の同窓生もコロナに負けず活躍しています。羽鳥慎一・モーニングショーに毎朝笑顔で出演しているテレビ朝日の森山みなみアナウンサー(56期)、東京芸大出身で日伊音楽コンクール1位のテノール大澤一彰君(22期)、日本棋院常務理事のプロ棋士久保秀夫君(32期)、先日舞台での活躍を観て来ました劇団四季出身の天野勝仁君(51期)、スポーツ界では水球男子日本代表チーム監督の塩田義法君(40期)。そんな彼らを紹介する30周年記念誌の編集がスタートしました。

そもそもなぜ、30年前に旧関東支部が設立されたのかまったく不明です。そこでルーツを辿ろうと、レジェンド先輩方に集まっていただき、話しを伺いました。空手部OBの岩下先輩(6期)は開口一番「高校時代が一番だった。部の後輩である堺さん(8期)とは勉強の話しか、しなかった云々」(これには全員フリーズ!!)。結局のところ、何が一番だったのか分からず仕舞い。瞬く間にやんちゃな男子高時代に戻り、創設当時の思い出話で盛り上がりました。次は51期生が坂本先輩の話しを伺いに衆議院会館を訪ねます。幹事会もやっと動き始めました。来年2月4日(土)には3年ぶりに総会・新年会を開催する予定です。もちろん司会は森山アナで。



前回の総会・新年会 (2020年2月1日)



レジェンド先輩(6・7・8期)を囲んで

新生県庁紫紺会設立総会開催へ

広報・情報委員長 宮村勇一郎(23期)

令和4年6月24日(金)、熊本市の松屋別館で、新生県庁紫紺会(以下・県庁紫紺会)の設立総会と懇親会が多くの来賓を迎える中、総勢43人の参加者のもと開催されました。

総会の冒頭では、発起人代表である小牧裕明氏(20期)が「本会は昭和58年に発足し活動していましたが、平成19年以降は休止になっていました。名簿の更新もされていない状態でしたが、紫紺会会員同士の親睦を深めるため、復活してほしいとの声を受け、再結成への思いを抱きました。また、人を知ることでも多くの仕事が進みますが、現在県庁紫紺会は110人を超える大所帯となり、紫紺会全体を見ても政治家や経済人を多く輩出し、各界で活躍されています。私自身、多くの先輩方に助けられ、ここまで来ることができました。若い方々にもぜひ、この経験や関係を残してあげたいとの思いで、発起人や準備委員会の皆さんと「再開」を相談し、本日の県庁紫紺会設立総会の運びになりました」とあいさつされました。

来賓あいさつの後は、規約の制定や小牧裕明氏が会長と定める役員選出議案など各議案の審議がスムーズに進行。最後に小牧新会長が設立当初からの会費などをもとに30万円を伊藤良高校長に寄付されました。本会からは木村光男会長と広報・情報委員長が出席し、木村会長が紫紺会を代表しあいさつ。続く懇親会では、来賓や役員、そして若い50期代までの方々が、年齢や役職の垣根を超え、和気あいあいと明るく楽しそうに歓談し、懇親を深めていました。



出席者全員による記念撮影



冒頭であいさつする小牧裕明会長



伊藤校長(右)に寄付金を渡す小牧会長

委員会・支部年間活動報告

事務局



事務局長
奥村 誠基
(33期)

日頃より紫紺会の活動にご

協力いただき、誠に感謝を申し上げます。おかげさまで、無事に一年を迎えることができました。振り返りますと、やはり新型コロナウイルスの感染状況に翻弄される一年でした。木村光男会長のもと、感染防止対策を考慮し、常任理事会・代表幹事会を開催して参りました。そのため、延期・中止などで役員の皆さまを含め代表幹事さまや会員の皆さまを翻弄した部分はありますが、紫紺会活動全体を通してクラスターなど大きな被害が発生しなかつたことは幸いだと思います。これから先の活動にも感染対策は常に考慮しなければならぬことと思われまますので、皆さまには度々のご協力をお願いすると思えます。よろしくお願ひ申し上げます。

せていただくことができませんでした。残念ながらお祝いの会は中止となりましたが、コロナ禍の中でたくさんの方々にご列席いただき、感謝いたします。

また今年1月に大同窓会は開催できなかったものの、58期59期による「20歳の同窓会」がそれぞれ1月3日・1月4日に熊本ホテルキャッスルで開催されました。58期は一年越しの準備を通しての開催でした。これらは各々の期の幹事が本人達で段取りし、開催したものです。どちらも400人弱の人数規模による会で大同窓会顔負けでした。紫紺会としては案内ハガキを発送するなどのお手伝いをさせていただきましたが、若い世代の段取りの素晴らしさとアイデアに驚かされました。今後を担う若い卒業生達を見て、楽しみにになりました。

大同窓会の開催に関してはとても残念でした。度重なり日程を変更してどうにか開催したいという思いで執行部一同何度も話し合いをしましたが、最終的には中止という形になってしまいました。楽しみにされていた方々には大変申し訳ございません。今期も既に来年の開催に向けて準備を

始めております。無事に開催できるよう祈るばかりです。

3月には新卒業生の入会式を今回はオンライン形式で開催いたしました。予め学校側に資料を渡した上で、木村会長から紫紺会としてのごあいさつや説明をしていただき、代表幹事へ委嘱状の授与と全員へ卒業記念品を贈呈しました。新たな会員の入会に伴い、紫紺会がさらに活性化すること

に期待が寄せられます。今年度の活動にはなりません。令和4年6月18日に年祝いのお祝いをホテル日航熊本で開催しました。総勢150人が出席し、大盛況の祝賀会となりました。他の同窓会団体でもこのような規模の会は

コロナ以降で実現していないことでした。紫紺会の皆さまの熱心さとご協力の賜物です。今後の紫紺会活動におかれましても皆さまの温かいご協力が不可欠です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

代表幹事会



代表幹事長
浦上 和裕
(16期)

令和3年度は各期の代表幹事にお集まりいただき、左記の通り、審議・協議、確認事項などの会議を行いました。令和3年10月13日、12月8日、

大同窓会は残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止となりました。令和4年6月18日に開かれた年祝いの会と第29回通常総会では、通常審議の後、代表幹事の中から提案があり、

令和3年度は新型コロナウイルスの影響で紫紺会の活動はほとんど実施できておらず、木村光男会長に対し、例外的に任期延長をお願いしてはどうかと声

が上がりました。審議の結果、出席された代表幹事の総意として、木村会長に1年間の任期延期の要請を決議しました。

令和4年度こそは、紫紺会の各委員会や各行事が無事に

行えるよう、心より願っております。各期の代表幹事さま、多岐にわたり、ご協力ありがとうございました。

財務委員会



委員長
三浦 勲
(23期)

財務委員会は委員長三浦勲(23期)、副委員長永松豊(16期)、委員として白石隆(24期)、出先教明(31期)、高濱知佳(32期)、佐藤マリア(37期)という体制でスタートしました。前年度委員長の馬原隆先輩、事務局長の村上康彦先輩の引き継ぎとご指導をいただきながら、業務として経

費支払い、通帳・帳簿の管理、決算、監査、総会決議などを役割分担。私が慣れない中で各委員にご協力いただき感謝しています。

また会費納入率の向上はコロナ禍の中で対応が進まず、今後取り組んでいきます。新たな会費収入として終身会費が導入され、1〜5期の80人

超の会員から入金いただきました。また、未来応援基金も導入され、180人超の会員から貴重な寄付をいただきました。

本年度は各事業が再開される予定ですので、財務面で支えながら紫紺会また熊本学園

大学付属中学、高校の発展に寄与したいと思えます。

広報・情報委員会



委員長
宮村 勇一郎
(23期)

広報・情報委員会は主に2つの事業を手掛けております。1つは、会報誌の編集および発行です。会報誌は1年間、紫紺会が活動した内容を同窓生の皆さまに具体的に紹介する大変重要な役割を担うものです。年に1度の発行を楽しみにしていらっしゃる皆さまに、より見やすく、読みたいと感じていただける誌面づくりを目指し、編集させていた

だきました。2つ目は、ホームページとフェイスブックの維持管理および更新です。紫紺会の最新情報をいち早く皆さまにお届けできるよう、日々更新を行っています。

なお、今年度発行の会報誌は、コロナ禍の影響で開催できなかった事業も少なく、以前の誌面内容とは異なるところも多々

あったかと思いますが、何より会員の皆さまに、楽しんでいただける内容を」との思いで、委員会メンバー同士で話し合

い、作成しました。次年度に關しましてもコロナ禍の影響は

続き、内容に変動があるかと思いますが、昨年同様の思いを持ち、作成いたす所存です。

最後になりましたが、会報誌の発行にあたり、多くの皆さまにご協力いただきま

した。この場をお借りし、心からお礼申し上げます。

事業活動委員会



委員長
浅野 芳幸
(33期)

2021年度はコロナウイルス蔓延のため、計画を進めては蔓延防止が発令され、事業が行えない状況が続く、モチベーションの維持が困難な1年でした。そのような中でも年祝いの会を開くことがで

き、良かったと考えています。懇親会は行わず手取神社のご祈祷のみとなりましたが、20年度と21年度に人生の節目を迎えられた先輩方を祝いできた事は良かったと思っています。

22年度も引き続きコロナウイルスの蔓延で新年大同窓会が中止となりましたが、6月には年祝いの会を開催することができました。150人を超える方々に参加いただき、1期・4期・11期・20期の先輩方のお祝いを盛大に執り行うことができました。感染対策の観点から例年通りの開催とはいきませんでした。多くの方から感謝の言葉をいただき、本当に開催して良かったと思います。今後も回を重ねるごとに時代に則した事業を実行していければと思います。ご参加、ご協力をいただいた皆さまに心より御礼申し上げます。



委員長
嶋村拓二郎
(41期)

●青年部委員会

紫紺会青年部は、若手の同窓生を中心とした委員会です。2021年度は、新型コロナウイルスの影響がある中で8月にゴルフコンペを開催しました。ラウンド中の雨と雷によ

り、途中で中止せざるを得ない判断を強いられましたが、前半のスコアで表彰式を実施。たくさんの方から景品を協賛いただき、表彰式は楽しい時間となりました。

2022年度も状況を見ながらの企画立案となりますが、ゴルフコンペは開催したいと考えています。若手の集客に力を注ぎ、青年部のパワーでこれからの紫紺会を盛り上げていきたいです。



実行委員長
渡邊 憲輔
(39期)

●飾馬奉納委員会

今年から飾馬奉納紫紺会の実行委員長を務めることになりました39期の渡邊です。まずは例年、藤崎八幡宮秋季例大祭での奉納においては、関係者の方々に多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

熊本は自然災害からの復興の一端の中、新型コロナウイルス感染症のダメージを受けながら、必死に立ち上がり前に進もうとしています。その力の源のひとつは「同窓生の絆」だと思っています。しかしながら、新型コロナウイルス禍によりその絆を繋ぐ機会の多くが失われてきました。そんな日々も3年経ち、今年ついに秋季例大祭

の開催が決定。奮い立つ思いに、今一度祭りを通じて同窓生の絆を紡ぎ、同窓生の皆様が熊本を盛り上げる力を得るべく全力で運営してまいる所存です。

同窓生の皆様、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。



委員長
寺本 光秀
(22期)

●経済同友会

令和3年度もコロナ禍の影響を受け、活動を縮小せざるを得ませんでした。本会青年部と合同開催の若手会員交流会、五校経済同友会のスポーツ例会・合同例会などは、いずれも中止となりました。

総会・年祝いは、令和3年7月31日に、万全の感染対策を講じて、松屋本館(25期・西上佳孝会員)で開催しました。総会では、コロナ禍の影響も考慮し、年会費を半額にすることなどを決議し、年祝いは、喜寿(3期)、古希(10期)、還暦(19期)、厄入り(39期)の会員のお祝いをいたしました。

また、在校生の隠れた善行を讃える奨励賞については、令和4年1月29日に、新年会および新入会員歓迎会と合わせて授与式を計画していま

たが、こちらも新型コロナウイルス感染症の第6波の影響で、令和4年度に延期することとなりました。

本稿を執筆している現在は第7波の真っ只中です。一日も早くコロナ禍が収束し、通常の会員交流ができる日が来ることを願っています。

●教育紫紺会

教育紫紺会は、教育に関わるすべての現役同窓生の会です。本会は第1回生(昭和37年度卒業)の退職慰労会(2004年)からスタートし、母校の先生方(中山先生・猿渡先生など)にご講話をいただくなど、さまざまな企画を行いながら懇親を深めて参りました。

昨今は、隔年で総会および懇親会を実施し、約130人の同窓生が集まったこともあります。令和4年度は、泗水中学校の山本幸二校長先生が会長にご就任され、総会を実施する予定でしたが、コロナ禍の状況もあり、見通しが持てない状況にあります。

同窓生の皆さまに広く教育紫紺会をご紹介するとともに教育関係の皆さまには本会へのご参加をお待ちしております。

事務局…
北部中 水田貴光(28期)

●飲食紫紺会

飲食紫紺会は紫紺会による協力のもと立ち上げて、7年目を迎えました。これまでを振り返りますと、熊本地震に続き、コロナ禍においては時短営業や行動制限で活動を控えることになり、大きな試練となりました。このような中、紫紺会の木村光男会長のもと、令和4年6月にホテル日航熊本で「年祝いの会」が久しぶりに開かれ、飲食業にとっては希望の光と未来への胎動を感じさせるものになりましたが、不安は尽きない毎日です。飲食紫紺会はコロナ禍のガイドラインを守り、日々一生懸命努力されている皆さまと協力し合い、情報の共有化を図り、飲食関係の同窓生の方々に少しでも役に立つ組織を目指しています。

私も飲食店が自分の仕事ともう一度、真剣に向き合い、日々向上しながら協力し、互いに切磋琢磨することで、紫



同窓生が経営する店を回る「はしご酒」イベント。飲食紫紺会が中心となり開いている

紺会におけるますますの発展の一助となることを心より願っております。

会長 早川 誠(4期)



現役生部活動報告

～コロナ禍でも元気に頑張る現役生活動のご紹介～

社会活動 reclothes

私たちreclottesは、総合的な探究の時間である深学科プログラムで昨年の夏頃から「大量廃棄されている服を用いて植物栽培を行う」ことをテーマに活動してきました。熊本市役所の方や県内外の企業の方々方に連絡を取り、廃棄された服を裁断して媒体を作りました。栽培した植物は、5月に行われた熊本花博では下通りに展示していただきました。私たちの活動を通してより多くの方が服の大量廃棄だけでなく、さまざまな環境問題に関心を持ち、一人ひとりが環境のためにできることを考えるきっかけになればうれしいです。



社会活動 Next Nexus

Next Nexus は、規格外となり捨てられてしまう食材を利用することで食品ロス削減を目指す学付生のプロジェクトグループです。

総合的な探究の時間である深学科プログラムの一環で、私たちは食品ロスに着目。生産や販売の段階で傷や形が原因となり捨てられてしまう食材をお菓子に作り替えて販売しています。

活動を通して、多くの企業や農家の方がロスを減らすためにさまざまな努力をされていることを知りました。この活動が生産者の方の思いを多くの人に広め、身近にある食品を大切にすることを意識してもらおうきっかけになればと思っています。



ボート部 男子

女子と共に日々「日本一」という目標を達成するべく江津湖で努力しています。

昨年は大会や遠征が中止となってしまい、悔しい思いも多くありましたが、今年の県総体では、男女全種目制覇をすることができ、インターハイへの出場権を得ることができました。夏のインターハイに向けてこれまで以上に気合いを入れて練習に取り組んでいますので、応援よろしくお願ひします。

祝 県大会優勝



ボート部 女子

私たちは仲間と共に日々切磋琢磨し、「日本一」にふさわしい選手になれるよう努力を重ねています。練習を共にする男子に負けじと、やる気と活気で部を盛り上げています。今年の県高校総体では多くのプレッシャーの中で、14年ぶりに男女全種目優勝を果たすことができました。今年は、昨年までに比べ大会などへ出場する機会も増えているので、先生方や周りで支えてくださっている方々に良い結果で恩返しができるよう全力で頑張りたいと思います。



祝 県大会優勝

女子硬式テニス部

私たち女子硬式テニス部は、6月に行われた県高校総体の団体戦で優勝し6連覇を達成、インターハイの出場権を勝ち取りました。また、個人戦単・複でも優勝することができました。3年生にとっては最後となった今年度の総体、3年ぶりの有観客の舞台上練習の成果を發揮できました。また1年生・2年生にとっても初めての県総体の舞台上今後につながる良い経験ができました。現在の目標はインターハイにおける活躍です。今後とも県代表として恥じないように、また団体戦の代表として学付の名に相応しい試合が出来るよう、練習を頑張っています!!



祝 県大会優勝

体操部

今年の県高校総体では男子団体4連覇を達成。個人総合・種目別においてもすべてのタイトルを本校生が独占するとともに、インターハイへの出場権を獲得しました。また、昨年度の九州中学総体でも男子団体が初優勝を果たし、九州No.1の中学校として全国大会へ駒を進めるなど、中高共に熊本の体操界を牽引する活躍を続けています。



祝 県大会優勝

演劇部

昨年秋の大会では3年ぶりの優秀賞と、初めての創作脚本賞をいただきました。感染拡大のため、この春の自主公演は中止せざるを得なくなりましたが、1年生の新入部員が12名も入り、今、かつてないほど勢いづいています。6月の総文祭、城北地区演劇祭の出演に続き、8月の自主公演、そして10月の演劇大会という発表の場で、これからも学付演劇部らしく「個性」を發揮させます!ぜひ観に来てください。



サイエンス部

サイエンス部は、身の回りの疑問に目を向け、日々実験を行っています。昨年はICAST(先端科学技術分野学生国際会議)で英語で発表を行った。科学の甲子園、京都大学ポスターセッションなど、様々な大会に積極的に参加しました。現3年生の大野さんは、ウリハムシの研究でサイエンスキャッスル優秀賞に選ばれたり、山口さんのマイクロプラスチックの研究はマリンチャレンジプログラムの認定研究に選ばれています。好きなことを思いっきり探究できるサイエンス部。部員一丸となってがんばります。応援よろしくおねがいします。



女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は2年生8人、1年生3人、マネージャー3人で活動しています。人数は少ないですが外部コーチのご指導のもと、ベスト8を目標に日々練習を頑張っています。昨年は新型コロナウイルスの影響で活動が制限され、悔しい思いもしてきましたが、今年はその思いも胸に、1つでも多くの試合に勝てるように、部員全員が一丸となって頑張っていきます。



弓道部

私達弓道部は、3棟5階(屋上)の弓道場で夏の暑さにも、冬の寒さにも負けずに活動しています。コロナウィルスの影響で練習時間も大幅に短縮され、他校との練習試合も制限する中でしたが、弓道部伝統の師匠と弟子制度で、部員同士での教え合いを大切にし、日々の練習をしています。今年の高校総体では女子が3位、男子個人4位という結果を残すことができました。現在は2年生が主体となって頑張っています。1年生も基礎練習が終わり、ゴム弓を弓に持ちかえ、みんなで切磋琢磨しています。どんなときでも平常心で的に向かい、いつもの射ができるように練習から一本一本大切に引くことを心がけていきたいです。



水泳部

私たち水泳部は、『文武両道』『楽しく取り組む』をモットーに活動しています。そんな水泳部を築き上げてこられた歴代の先輩方、いつも私たちを支えてくださる先生方や保護者に感謝しながら精一杯頑張っていきます!今年度も昨年度に続き男女九州大会出場を果たしました。特に、女子はリレー全種目九州大会進出、県総体団体入賞という創部以来、初の快挙でした。今後とも応援よろしくお祈りします。



ハンドボール部

私たちハンドボール部は県ベスト8を目指して日々活動しています。高校総体では、昨年、一昨年とあと一步のところまでベスト8を逃しました。3年生が抜け、今の1・2年生は中学からの経験者がいない中で、自分たちで練習メニューを考えたり、コーチの方にアドバイスをもらいながら、今年こそは目標達成できるように日々限られた時間の中で考えながら頑張っています。



男子バスケットボール部

私たち男子バスケットボール部は熊本県ベスト4という高い目標の実現に向けて日々精進しています。目標達成のためにも日々の挨拶や整理整頓など身の回りのことを「徹底」することから取り組んでいます。また、練習でも少ない練習時間の中でお互いの共通認識を高めて、厳しくも楽しめる練習を意識して活動しています。これからも周囲の協力によりバスケットができることに感謝して頑張っていきます!!



野球部

野球部は昨年10月、創部60周年記念事業として、全国制覇を果たした智辯和歌山高校を熊本に招き、招待試合を行いました。打力も投手力も超高校級である智辯和歌山を相手に中盤まで1対1の同点で粘りましたが、終盤底力を見せられ1対5で敗れました。また、今年1年間で行われた主要4大会(秋の大会、春の大会、RKK旗、NHK旗)で、いずれも県ベスト4に入り、第5シードとして、夏の大会に臨みます。悲願の甲子園出場に向け、今後も日々の練習を頑張っていきます。応援よろしくお祈りします。



～未来応援基金報告～

未来応援基金(平成29年から開始されていた現役学生支援金が、創立60周年を期に学校側が創設された紫紺の寄付金と趣旨を同じくすることから、平成30年に休止されたもので、名称を改め再始動した寄付金制度)は令和2年度総会において導入が決定されました。

この度は、総会決定事項に沿ってご寄付いただいた皆さまを会報誌でご紹介します。なお、活用方法は今年度学校側と協議の上決定し、会報誌で報告します。

未来応援基金 寄付者一覧 (1期) 森川崇照、奥村拓司、山本敦史 (2期) 濱崎龍夫、藤田武久、辻 幸雄 (3期) 村田誠一、轟 淳一 (4期) 長野和男、森崎公、水野繁之、宮崎喜一 (5期) 島村 武、歳嶋廣久、長野 稔、時任正人、菊池和夫、宮島克宣 (6期) 梨子木和秀、砂岡憲喜、野村一俊、植 茂、山本文雄、吉本寛治、吉野正孝 (7期) 中村保明、森田秀久、上村建二、崎山嗣夫、中村倫博、中口俊宏、小嶋維男、武末博司 (8期) 妻木邦博、坂本哲志、山本 堅、武田秀二、木村 裕、佐藤吉信、中島元比古、堺 亜流 (9期) 徳永幸三、石本敏明、濱本正明、中川信三、宮本和博、貝塚正治、高井茂之、本郷弘昭 (10期) 吉松淳次、三角洋介、川口雄一郎、佐藤雅保、山本徳光 (11期) 児玉聖也、緒方公博、高丸保也 (12期) 後藤健吾、森下広寿、藤山康幸、西山恵生 (13期) 奥田俊一、木林哲郎、有働祥三 (14期) 田代博章、奥田整史、津楚高則、上田一富、西村秀夫、鶴 梅太郎、坂井正志 (15期) 南 明、甲斐理明、山本宣房、松本寿美子、福田一也、田中純二、村上康彦、長野英子、米村福美、島村昌宏 (16期) 岡部一郎、永松 豊、田上いつ子、木村光男 (17期) 中村公一、白石治幸、中村吉宏、前崎元克、須田久雄 (18期) 奥田章子、乙丸幸也、河崎由紀夫 (19期) 園田敏則、田中博康、小田勝也、三原大典、下村誠次郎、森田靖也 (20期) 田上博文、内田ひろみ (21期) 中山真夫、富永直子、大坂良司、矢野朋子、藤川昭嗣 (22期) 桃崎剛寿、ハツ波美和子 (23期) 栗林京子、三浦 勲 (24期) 家入由美、西岡ゆかり、木下知香、末富仁美、山室圭子 (25期) 中嶋宏佳、竹下精一、江藤公俊 (26期) 東 修、丸田佐知子 (27期) 永松朱美 (28期) 魚住昌史、井上賢二 (29期) 渡邊一広 (30期) 武田雄二、河野大介、田中宏美 (31期) 谷口美智子 (32期) 田中弘敏、荒井茂夫、大賀盛博 (34期) 石原裕士、小嶺 仁、赤塚智哉 (35期) 上村博美 (36期) 宮本浩一郎 (37期) 安藤尊康、中間健太郎、小野悠介、西牟田耕太郎 (38期) 武末夏子 (39期) 渡邊憲輔、北里大祐 (40期) 與田洋史、榎 崇文、貝塚治樹、村田祐一 (43期) 中野隆志 (45期) 津村伸行 (46期) 加藤丈士 (47期) 尾崎彩夏 (48期) 林 実穂 (49期) 塚田一平、池田美玲 (50期) 服部 光 (53期) 溝口智尚 (54期) 大山優華、松山周平 (56期) 大山あかり、本田智暉、佐々木義茂 (57期) カウ由芽、小林真雪、津田健吾 (58期) 浦田佳介、土井淳一郎、亀崎 史、荒木勇斗 (59期) 原田佳菜子、近藤真悟、尾下真輝人、堀之内真真、山下侑祐 (60期) カウ姫芽、大野凌史、高野はな、酒井清士郎、辻本初菜、内山菜月、山崎真弘、生田愛理、坂口直哉、藤岡沙也加、津田信吾

紫紺ズームアップ

zoom
up

With
コロナ

～各界で活躍する 同窓生たち!!～

水球審判員として東京五輪を経験して

国際水泳連盟登録審判員 津崎 明日美 (46期)



中学生の頃、親戚の影響で本格的に水球というスポーツを始め、学園大付属高校へは水球部があることと制服が可愛いから、という理由で第一志望校に。当時の私の学力は学年でちょうど真ん中あたり、必死に勉強して受験したことを今でも覚えています。

高校生の頃の第一優先はもちろん部活。女子部員の人数がいなかったことから、県外のチームに混ぜてもらい試合に出ています。運が良いことに、高校3年生で出場した全国大会で奇跡的に大学の推薦をもらうことができ、高校受験の時と同じように水球をするために進学先を決めました。選手としては大学

まで活動し、現役最後の大会は日本選手権準優勝。大した活躍をすることができず、悔しい気持ちのまま現役生活を終えました。

大学卒業と同時に一度離れた水球でしたが、ご縁がありジュニアの指導を始め、選手とは違う立場で水球に関わることによって、今までたくさんの人に支えられて水球というスポーツに打ち込めたこと、たくさんの人たちの協力があつて各大会イベントが開催されていたことを改めて実感し、今度は次世代



の選手たちの支えになる番なんだなと思うようになりました。指導を始めてからしばらくは審判資格を取らずにいましたが、私はまた運のいいことに東京でオリンピックが開催されると決まり、開催地枠で男女ともに出場権があるのに女性審判がないのでは女子の強化につながる、という流れから、周りの人たちの後押しもあり、審判を始めることにしました。当時は審判に対してネガティブな印象を持っていましたので、審判としての目標なんて何もありませんでした。私の周りには国際審判として活躍する先輩方がいたこともあり、嫌なことも悔しいことも納得いかないこともたくさんありましたが、だんだんと国際審判を目指すようになりました。

オリンピックの審判に選ばれたのは2019年11月。2020年はコロナの影響で世界中がストップしオリンピックも1年延期に。やっと迎えた2021年、オリンピックに向けて私も日本代表合宿に帯同し、水球漬けの日々を送っていた中、私はまたまた運のいいこ



とに、オリンピック開会式での宣誓に審判代表として選ばれたとの連絡が入りました。開会式含め、オリンピックではどの競技も無観客開催となりとても残念でしたが、オリンピック開会式に審判代表として参加できたことは、一生忘れることのできない素晴らしい思い出です。審判として迎えたオリンピック本番は緊張やプレッシャーを常に感じていましたが、何よりも今まで私に関わってくれたすべての人たちへの感謝の気持ちを強く感じていました。自分が選んだ道はどんな将来につながっているのかは分からないけれど、

藤崎八幡宮秋季例大祭

祭り囃子の音で紡ぐ絆の力を今こそ

飾馬奉納紫紺会 総代 木村 賢正 (36期)



飾馬奉納紫紺会
総代の木村です。

まずは例年、藤崎八幡宮秋季例大祭での奉納において、関係者の方々に多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

ついに今年、藤崎八幡宮秋季例大祭の開催が決定しました。これまで新型コロナウイルス感染症の影響から2回の中止を余儀なくされました。熊本の秋の訪れを感じる「随兵衛合」を、祭りの熱気を感じることなく過ごす季節は、様々な新型コロナウイルスの影響の中でも特に私の心に大きく穴を空けました。今年の開催も毎日報道される感染者数の多さに、開催が難しいかもしれないと肩を落としておりましたが、開催が決定したことに心から嬉しく思っております。

一方で、参加にあたっては容易ではないという思いもあります。新型コロナウイルスの影響に日々耐え忍ぶ多くの関係者及びご支援をいただく皆様、更なるご尽力をいただく事になるためです。我々も本来、祭りの準備は1年通じて行っていくものですが、今年は感染拡大状況から開催が不透明な時期を挟んだため準備不足が否めない状況です。他団体も同じ状況であり、例年70

団体を超える参加も今年は19団体に留まりました。

しかしながら、今年の参加は新型コロナウイルス禍前の参加とは大きく違う点が1つあります。それは「参加することによって意義深いものがある」ということです。今だからこそ祭りという形で受け継がれてきた熊本の絆や想いが生み出す力を紡ぎ、この新型コロナウイルス禍を同窓生一丸となって乗り越える力に変えていくこと。この意義深い参加で無事に祭りを成功させ紫紺の「心粋」を繋ぐことこそ私の使命だと考えています。

現在、ご支援いただく皆様に恥ずかしくない祭りをするべく準備も急ピッチで進めております。同窓生の皆様、ぜひともご参加いただきますようお願い申し上げます。



今年の経験と伝統を紡ぎ、来年の担当期へ

富田 修成 (46期)



本年度の飾馬奉納紫紺会の副隊長を務めます46期の富田です。

新型コロナウイルス蔓延により昨年、一昨年と中止になっていた秋季例大祭が今年、3年ぶりに開催されることになりました。これまで多くのイベントや地域の祭りが中止になり、交流の場や盛り上がる場が激減しました。そんな日々には、常に物足りなさを感じていたため、今回の開催を心から嬉しく思っています。副隊長を務めながら、祭りに参加する先輩後輩の皆さんと出会い、そして楽しみ盛り上がる。そんな時間や絆づくりの架け橋の一役を担えることも楽しみです。

来年担当期は46期です。この祭りを通じて久しぶりに46期の同級生が集まれる楽しい場を作れたらと思います。また、先輩方の力を借りながら久しぶりの例大祭を盛り上げることで、今まで先輩方が作ってきた紫紺会の伝統を来年の担当期での開催へと紡いでいける副担当期になれるよう頑張っていきたいと思えます。

初めての事が多く不慣れたため、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



新型コロナウイルス感染症の早期終息を願いながら、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

令和3年度年の祝い 事業報告

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度の年の祝いは完全に中止になってしまいました。令和3年度こそは例年通りの開催を目指しましたが、またもコロナ拡大で宴会を断念せざるを得なくなつた中で、多くの方のご協力とご理解の上、2、3期の傘寿、9、10期の古希、18、19期の還暦の神事を手取神宮で開催することができました。宴会の開催ができない代わりとはなりません。紅白の求肥をご用意させていただきました。御守りとともにご参加の先輩方にお配りさせていただきました。

今回は会員とともに祝いすることが叶いませんでしたが、次の節目の際に盛大にお祝いができる社会情勢となり、すべての先輩方と元気に再会できますことを願ってやみません。現在の事業活動委員会としまして、初の担当事業であり、不行届な点が多々あったかと思いますが、この経験を生かし、これから節目を迎えられる皆さまにとってより良い機会となるよう努力して参りますので、今後ともご支援ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、今回節目を迎えられましたすべての先輩方のますますのご多幸とご健康を心よりご祈念申し上げます。事業報告とかえさせていただきます。

事業活動委員長 浅野芳幸(33期)



10期参拝



2期参拝



18期参拝



3期参拝



19期参拝



9期参拝

15期同窓会 開催報告

4月9日と10日に天草宿泊で15期同窓会を開催しました。吉田代表幹事と天草15期チームで計画したもので、2021年に長野会長期が終わり、慰労会も兼ねた久々の同窓会となりました。丸尾焼き(金澤一弘代表)で陶芸体験をし、天草サンタカミングホテル(船元支配人、天草組でカシ村や崎津天守堂等等、観光コースも段取り!サムイ島から甲斐親子も参加し、同期17人による大にぎわいで大盛り上がりでした。次は65歳同窓会です!皆さんありがとうございます。

紫紺会前会長

長野英子(15期)



代表幹事メッセージボード開設のお知らせ

会報誌32号から、新たに代表幹事から各期の皆さんへのメッセージを紹介する枠、「紫紺会代表幹事メッセージボード」を開設します。代表幹事から各期の皆さんにお伝えしたい内容を50字程度(昨年度や次年度の要件など)で掲載いただき、各期の皆さんに報告・連絡するためご利用いただければと思います。どうぞ遠慮なくご利用ください。

コロナ禍もあり、これまでの行事も止まり、同級生同士疎遠になられている皆さんも多いことと思います。どうぞ伝言板としてもご利用ください。

16期

16期生の皆様へ、来年は65歳になりますので、同窓会を計画しております。

実行委員会を立ち上げますので、ご協力をお願いいたします。

代表幹事 藤木・浦上

23期

夏季オリンピックイヤーは23期の同期会の年。パリオリンピックは2024年。みんな元気でいきましょうね。

代表幹事 川口 修

32期

32期生の皆さまへ、令和4年12月29日(木)に同期会を開催予定です。参加希望者は代表幹事の堤(090-4986-4958)まで連絡ください。

代表幹事 堤 泰之

39期

コロナ禍お見舞い申し上げます。大変な時代ですが、さまざまな国や地域、分野での39期生の活躍が母校と同窓会の活力になっています。

代表幹事 永廣 一晃

47期

47期の皆さまへ。再来年は秋の例大祭で担当学年となります。LINEグループなどでつながり、2年後に向け盛り上がりましょう!

代表幹事 塚本 龍一

48期

卒業して早14年、いよいよ私たちの代が藤崎八幡宮例大祭の担当期になる年が近づいて来ました。皆さまにお力をいただくことが多々あるかと思ひます。皆さまにお会いできる日を楽しみにしております。

代表幹事 眞弓 知也

※次年度の掲載は7月頃に広報委員会より、事務局または代表幹事会を通してご案内します。どうぞご利用ください。

2023年3月期 収支予算案 2022年4月1日～2023年3月31日

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入		1,000	△ 1,000
受取利息		1,000	△ 1,000
②受取入金	4,020,000	4,080,000	△ 60,000
入金収入	4,020,000	4,080,000	△ 60,000
③受取会費	3,000,000	5,000,000	△ 2,000,000
年会費収入	2,500,000	2,500,000	0
終身会費収入	500,000	2,500,000	△ 2,000,000
④事業収益	4,900,000	4,700,000	200,000
懇親会費(大同窓会)	3,000,000	2,800,000	200,000
懇親会費(歳祝いの会)	1,700,000	1,700,000	0
現役部活動助成(事業活動委員会)			
事業収入(事業活動)			
広告収入	200,000	200,000	0
⑤補助金等収入	500,300	0	500,300
受取寄付金	500,000		500,000
補助金等	300		300
事業活動収入計	12,420,300	13,781,000	△ 1,360,700
2 事業活動支出			
①事業費	8,830,000	8,000,000	830,000
広報・情報委員会	2,830,000	2,500,000	330,000
事業活動委員会			
大同窓会	2,800,000	2,600,000	200,000
歳祝いの会	2,000,000	1,800,000	200,000
青年部委員会	200,000	200,000	0
財務委員会	100,000	100,000	0
飾り馬奉納支援金	100,000		100,000
紫紺経済同友会	100,000	100,000	0
クラブ奨励金	100,000	100,000	0
卒業記念品費	600,000	600,000	0
特別活動事業費			0
②会議費	550,000	100,000	450,000
総会費	50,000	50,000	0
代表幹事会費	500,000	50,000	450,000
③管理費	1,640,000	1,458,000	182,000
事務局費	1,200,000	1,168,000	32,000
事務局要員費	0	0	0
学年同窓会開催支援金	100,000	100,000	0
会員名簿委託管理料	0	0	0
新聞広告費	50,000	50,000	0
旅費交通費	50,000	50,000	0
慶弔費	60,000	60,000	0
雑費	180,000	30,000	150,000
事業活動支出計	11,020,000	9,558,000	1,462,000
事業活動収支差額	1,400,300	4,223,000	△ 2,822,700
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
特定資産(指定正味財産)の取得			
奨学金事業引当資産繰入(定期預金)			
記念事業引当資産繰入(定期預金)	500,000	500,000	
投資活動支出計	500,000	500,000	
投資活動収支差額	△ 500,000	△ 500,000	
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 予備費支出			
予備費			
当期収支差額	900,300	3,723,000	△ 2,822,700
前期繰越収支差額	17,790,477	15,056,654	2,733,823
次期繰越収支差額	18,690,777	18,779,654	△ 88,877

*3ヶ月の変則決算の為、次年度に予定している予算額を参考値として掲載しています。

紫紺会 2022年3月期 事業計画 (2022年4月～2023年3月)

月	日	曜	行 事	場 所	時 間	主 な 内 容 等	担 当
4							
5			決算・会計監査	紫紺会事務局	19:00～20:30		財務委員会
18	水		代表幹事会合同役員会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
8	水		役員会	パレオ会議室	19:00～20:00		事務局
6	18	土	通常総会	ホテル日航熊本	18:00～19:00		事務局
			紫紺年祝いの会	#	19:00～21:00		事業活動委員会
7	9		紫紺経済同友会総会	松屋本館			経済同友会委員会
			年祝いの会・奨励賞授与式	#			
17	水		役員会	パレオ会議室	19:00～20:00		事務局
8							
14	水		代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		事務局
9			飾り馬 慰問				飾り馬奉納実行委員会
			飾り卸	藤崎八幡宮			飾り馬奉納実行委員会
			藤崎宮秋季例大祭	藤崎八幡宮			飾り馬奉納実行委員会
12	水		役員会	パレオ会議室	19:00～20:00		事務局
10			五校合同経済同友会交流会				経済同友会委員会
11	9	水	100%代表幹事会・懇親会 代表幹事会懇親会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会 #
12	13	水	役員会	パレオ会議室	19:00～21:00		事務局
1	3	火	20歳の同窓会			成人式を迎える期の同窓会を支援する	青年部
11	水		代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
28	土		新春大同窓会		19:00～21:00	年頭のご挨拶、奨励賞授与	事業活動委員会
			東京紫紺会総会・交流会				東京紫紺会
2	8	水	役員会	パレオ会議室	19:00～20:00		事務局
			学園大付属高校奨励賞授与式			令和2年度の賜れた善行を行った生徒の表彰	経済同友会委員会
3			紫紺会入会式	高校体育館		新卒業生の入会式	事務局・広報委員会
			学園大付属高等学校卒業式	高校体育館			会長

会費納入のお願い

同窓会活動は長きにわたり活発に展開されています。これも同窓生の皆様によるご協力のたまものと感謝申し上げます。活動には、最低限の資金を必要とし、皆様の会費によって支えられている事をご留意いただき、どうか早めの会費納入をお願いいたします。

- 会 費 3,000円
- 納 期 早目の納入をお願いします。
- 納入方法 同封の振込用紙にて、郵便局または振込用紙裏に記入してあるコンビニエンスストアでご送金いただくか、下記口座に直接お振込下さい。

【お振込先】

銀行振込の口座番号は下記の通りです。なお、銀行口座引き落としをご利用の方は新たに振込みの必要はありません。

- ・肥後銀行 県庁支店 普通口座 口座番号 1303908
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本銀行 水前寺支店 普通口座 口座番号 0259310
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本第一信用金庫 本店営業部 普通口座 口座番号 946549
熊本学園大学付属高等学校同窓会紫紺会

同窓会報「紫紺」の発行も32回目となり、私自身広報委員長として携わらせていただき2回目のとなりました。発行にあたりご協力を頂きました同窓生の皆様、高校関係者の皆様に心からの感謝を申し上げます。
本号は、昨年に引き続き会期の変更にもない発行時期を3月から9月としております。制作にあたっては、今年度もコロナウィルス蔓延により、諸活動が制限され本会を含め多くの支部・部会が思うように活動出来ず記事の収集に困難を来しました。
その中で、開催ができました記事を中心に在校生の「合格情報」やコロナ禍でも頑張る後輩学生の様子をお伝えすることで、同窓生皆様に元気を伝えてもらいたいと「現役部活動報告」などを掲載させて頂きました。
また、本委員会ではホームページやフェイスブックを通じ、会の活動をリアルタイムに発信しており、これらの広報活動が、同窓会に参加されたことのない方々が参加する一つの契機になればと考えます。今後も会における最前線の情報の発信を通して、同窓生の方々のお役に立てるよう、努めて参ります。
(広報・情報委員長 宮村勇一郎 (23期))